



同帰亭要語録

回向

孝養に三種あり。衣食を施すを下品とし、父母の意に違わざるを中心とし、功德を回向するを上品とす。況や亡親においておや、(十王讚歎抄)世の中では、「孝行をしたいときには親はなし」というような事を申します。併し、仏教では生前の親孝行もさる

事ながら、亡くなつた親に對しても回向をして弔らい、我が功德を以て追善するのが事です。

次に本有これは所謂、生涯といふもので、生きて死に至るまでを申します。その次は死有と申し、臨終の一刹那の事です。

そして、中自有。死後、次の生を受ける迄の間です。形体は五蘊「色、受、想、行、識」で出来ているのですが、中有的ときは原質の五蘊だけがあつて形体は無いという状態で、次の生をうけたとき、どういう形になるか決まるわけです。この中有を四十九日間

こととも、功德をつむことも出来ません。あとに残つた、子供とか、兄弟とか、遺族の追善回向だけが何よりのたよりとなります。先づ、生きている間にしつかりと御信心をさせて頂くことがあります。

しめる事思ふてみれば何もなしと示されているように、教えに従つて口唱に精出せば、つまり、自分の努力精進によつて成就することが出来ますが、死んでしまつたら、修行するのであります。

さて生き物の在り方には四百回御遠誦には一万人もの信徒が、本山宥清寺へ参詣されたと記録されています。

三十日	午前十時三十分	特別行事
佛立開導日扇聖人御正當会		
乗泉寺巡教、奉修導師		
大本寺乗泉寺御高職		
永江日盡上人		
晴天祈願(夏期参詣に併修)		
十六日(廿九日)		
第一座六時(八時)		
第二座九時半(十時半)		
廿三日第二座後大掃除		
会議		
一日 御總講後	役中会議	
十六日 午後一時	参事会	
廿五日 御總講後	ブロック長	
教区会議		

来る三十日(日)十時三十分より、本年度の開導会が、乗泉寺巡教として大本寺・乗泉寺御高職・永江日盡上人を奉修御導師として奉修されます。永江御導師は、宗務本庁の宗務副総長として、新井日現宗務総長を補佐されるという重責を担つておられます。

江戸幕府の宗教政策により乱れきつた宗教界に一石を投じ、佛様の正しい教えをお弘めになられました。開導聖人は、文化十四年(西暦一八一七)京都・蛸薬師(現在の誕生寺)にてご誕

寺へ入寺を願い出るも拒否され、やむなく西行庵への入居となりました。

その後、開導聖人は、淡路・隆泉寺・無著日耀上人を師僧として得度され、尼崎本興寺へ入寺を願い出るも拒否され、やむなく西行庵への入居となりました。開導聖人は、ひたすら御題目口唱に励まれ、安政四年(西暦一八五七)一月十二日谷川浅七宅に於て、本門佛立講を開講されました。

本年の夏期参詣は、七月十六日(日)より廿九日(土)までの二週間実施されます。開導会の晴天祈願も併修され、第一座は六時より八時迄と、第二座は九時半より十時半まで、ご法門は、六時三十分、七時四十分、十時十分の三回拝れます。

七月二日(日)立川教区三日(月)国立教区四日(火)京王教区五日(水)合同祈願助行六日(木)武藏野教区と御妙判下されてあります。ですから、あの世で、追善回向をしてくれるのをいつでも待つてはいるというのであります。

清流ニュース

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuji.jp.org/>

令和5年度総祈願
本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加
日堯上人五ヶ年報恩御奉公・寺内境内整備御有志運動推進
高祖ご降誕八〇〇年慶讃本山大法要 参詣御奉公成就
甲乙御講願主増加・御講・御總講・御会式参詣推進 教養会活動充実
励まし声かけ助行・積極的御法門聴聞・御利益感得口唱実践

ご弘通にご尽力され、あの幕末の混沌とした世情の中でのご弘通でした。
明治十四年、高祖日蓮大士六百回御遠誦には一万人もの信徒が、本山宥清寺へ参詣されたと記録されています。

七月九日
長野・本晨寺参詣
今月の他寺院参詣は、長野本晨寺へ参詣させていただくことになつております。当山住職が、奉修導師をお勤めになられます。当山は、毎年十三日の高祖御命日総講に、功徳会会員物故者回向が奉修されることになつております。

七月三十日(日)

奉修御導師 佛立開導日扇聖人御正當会 大本寺 御高職

永江日盡上人

生遊ばされ、幼少の頃より技芸に優れ、十四歳にして、平安人物誌、書・画の部に於てその御名を刻まれました。廿七歳の時、門人を引き連れて、本能寺の揮毫会を催され、その折り、本能寺(本門法華宗)秀典院日雄大徳より教化をうけ入信されました。

宗門総回向と盂蘭盆会
七月十五、十六の両日に亘り、本山宥清寺に於て宗門総講が奉修されます。当山は、毎年十三日の高祖御命日総講に、功徳会会員物故者回向が奉修されることになつております。

令和五年 夏期参詣

七月十六日(廿九日)

七月の朝参詣強調週間は、二日から六日までの五日間です。第四ブロック、第五ブロック、第六ブロックが担当となります。

七月二日(日)立川教区三日(月)国立教区四日(火)京王教区五日(水)合同祈願助行六日(木)武藏野教区

七月 朝参詣強調週間 二日(廿九日)

七月の朝参詣強調週間は、二日から六日までの五日間です。第四ブロック、第五ブロック、第六ブロックが担当となります。

七月二日(日)立川教区三日(月)国立教区四日(火)京王教区五日(水)合同祈願助行六日(木)武藏野教区

七月の朝参詣強調週間は、二日から六日までの五日間です。第四ブロック、第五ブロック、第六ブロックが担当となります。

夏期供養もありますので、早めに申し込んで下さい。